

2020年になってから、教会員の逝去者が急増しています。

山本一人兄、菅宮建吉兄、平田昱子姉、福本明子姉、山田成子姉、そして、またお一方、大森裕美子姉。鈴木崇巨牧師の孫にあたる鈴木真菜姉の実母でいらっしゃいます。

鈴木先生からお手紙を頂戴しました。

「去る8月15日、午前6時30分、51歳、蜘蛛膜下出血のため急逝いたしました。」

大森さんは通常通り出勤され、真菜さんは隣室で寝ておられました。

その真菜さんから新藤姉へのメール、「唐突で申し訳ないのですが、母が本日なくなりました。朝起きたら倒れていて、わたしも何が何だかわからず・・・」救急車を呼んで、病院で死亡が確認されました。

鈴木先生は、緊急時牧会として、ご自身でお別れの式を行われ、8月18日に火葬にされた、とのこと。教会の皆様へのメッセージがあります。

「本来なら田浦教会において、葬式が行われるべきですが、このような事情で、行うこととなり、事後報告になってしまいましたことをお許しください。・・・孫は本日より私が引き取ることとなりました。どうか事情ご賢察の上お許しくださいよう心よりお願い申し上げます。」

鈴木先生にはお目にかかったことはありません。ご縁があればお目にかかりたい、と思っていました。1970年ごろ、東京神学大学への機動隊導入を巡って、高崎学長の対応が批判され、学長は孤立していました。同級生の有馬式夫牧師に誘われ、「高崎学長を支持する会」を立ち上げることになり、二人の名前で全国に呼び掛けました。危ぶんでいましたが、いち早くお応え下さったのが大阪・玉出、同志社出身の石田牧師、そして鈴木牧師でした。当時、頌栄教会だったでしょうか。全共闘への同調的意見が幅を利かせる中で、毅然とした意見表明をされたことに感動しました。以来半世紀。